

愛媛県立とベ動物園にて、音声MRプラットフォーム Aurisを活用した体験を提供開始。園内における体験の高付加価値化、複層化を図る。



採択事業者名

株式会社GATARI

コンソーシアム構成員

愛媛県立とベ動物園

勉強会の実施概要

勉強会の目的	とベ動物園における取組をフラッグシップモデルとして、Aurisを活用した音声MRコンテンツの可能性を訴求することで、県内における新しい体験を創出する。
勉強会の当初のゴール想定と結果	今後記載(3月18日に勉強会を実施)
参加者	今後記載(3月18日に勉強会を実施)
協議アジェンダ	<ul style="list-style-type: none"> ・GATARIの会社紹介 ・とベ動物園での取り組み紹介 ・県内施設におけるユースケースの提示
データに基づく協議ポイントの整理	・実施に当たっての動物園側の運営負担など、準備工程において必要なことを提示し、導入に当たってのハードルを下げる。
主なデータ項目	体験者数、滞在時間、顧客満足度、再来訪意向
協議におけるガイドライン(含む具体例)	Aurisは音声ガイドとは異なるリッチな体験をスマホ1台で体験提供可能。また、運営側の導入ハードルが低いことが証明されており、魅力発信に課題を抱えているものの、施設側の制約や人的リソースが割けないといった状況に寄与するツールとして展開予定。
「実装成果」実現に向けた示唆/考察	今後記載(3月18日に勉強会を実施)

ビジュアルスペース
(勉強会の様子、活用データなど)

※枚数・配置自由※

データ活用・協議の具体例

重要指標 データ取得 データ活用 実行 協議	重要指標 例	Aurisを活用することで、体験者数に加え、滞在時間等ユーザーの細かな動きのデータを取得できる。また、体験終了後にアンケートに遷移することで、顧客満足度や再来訪意向を取得できる。	
		実装前	実装後
	データ取得	-	・①どうぶつガイドならびに②どうぶつ謎解きコンテンツの提供によって体験者数や滞在時間等のユーザーの細かなデータの取得が可能となる。
	データ活用	-	・データをもとに、人気の動物を職員さんの感覚だけでなく、数字で裏付けすることができるほか、来場者のニーズを正確に把握できるようになる。
	実行	-	・データをもとに、コンテンツのブラッシュアップが可能。
協議	-	・可視化されたデータをもとにディスカッションを実施。	

データ活用・協議による成果

データを利活用することで、今後考えられる成果は以下の通り。

- ・園内において人気の動物を知れるといった来場者のニーズを正確に掴むことができる。
- ・運営者側の負担について、最小限で施策を実施することができる。
- ・データをもとに、コンテンツをスマートフォン1台で差し替えすることができる。